

# 九州ルーテル学院大学とひのくに高等支援学校との交流活動記念植樹式

## 1. これまでの活動

九州ルーテル学院大学と本校とは、平成18年度（2006年度）の秋季から大学キャンパス内の中庭スペースを本校の学習の場としてご提供いただき、花壇作りをとおして交流(学習)を継続している。活動として中庭花壇製作（春6月、秋11月の年間に2回）、学生と生徒との交流会（2月）と位置付けキャンパス内の施設（食堂）利用や年間とおしての活動の振り返りを行ってきた。平成29年度（2017年度）からは交流会の内容を本校生徒の学校の様子や学習活動の紹介などの発表を中心に実施している。

平成30年度（2018年度）7月には、今後も両校の円滑な交流活動に繋がるよう「地域社会のための包括的連携に関する協定書」に調印し、より一層の発展を目指して取り組んできている。



苗付け準備（草花の撤去）



植え付けのための測量



花苗の定植（春季）

## 2. ヤマザクラの苗木養生

園芸科では、平成28年（2016年）4月に発生した熊本地震からの再興を図る取り組みとして、本校のヤマザクラの実生繁殖を地震後から取り組んできた。熊本地震を忘れることなく、その再興の時間とヤマザクラの成長の時間を重ね合わせつつ、ヤマザクラの可憐な花を愛でる時が必ずくるように、復興した熊本がくることを祈念しながら苗木を育成してきた。

併せて、熊本地震などの天災や、新型コロナウイルス感染症の猛威を振るう中、社会活動の中断や乖離、生活様式の変化をはじめ人と人の交流も少なくなってきた。社会情勢が変化する中でも植物は新たな命を結び、淡々と命を育てていく。植物や作物を扱う本校園芸科にとって、非日常の中の日常を大切に作る心とそこに気づく心をもつことの大切さ、生きているものを扱う者には休むことのない重圧の代わりに、他を思う心が醸成されることを樹木苗の養生をとおして学んでいる。これまでに育成した苗木は、一部は卒業生宅に、一部は本校に植栽している。



正門玄関前のヤマザクラ  
（この木の種子から育てました）



苗木の仮植の様子



ヤマザクラ苗木  
（夏の様子）